

文献の効果的活用のための手順

- 1 まずは読書から
- 2 読んだ文献の管理
- 3 文献データの管理
- 4 読書カードを付ける
- 5 文献リストの作成
- 6 データの検索
- 7 書誌データの活用
- 8 データ間のリンク



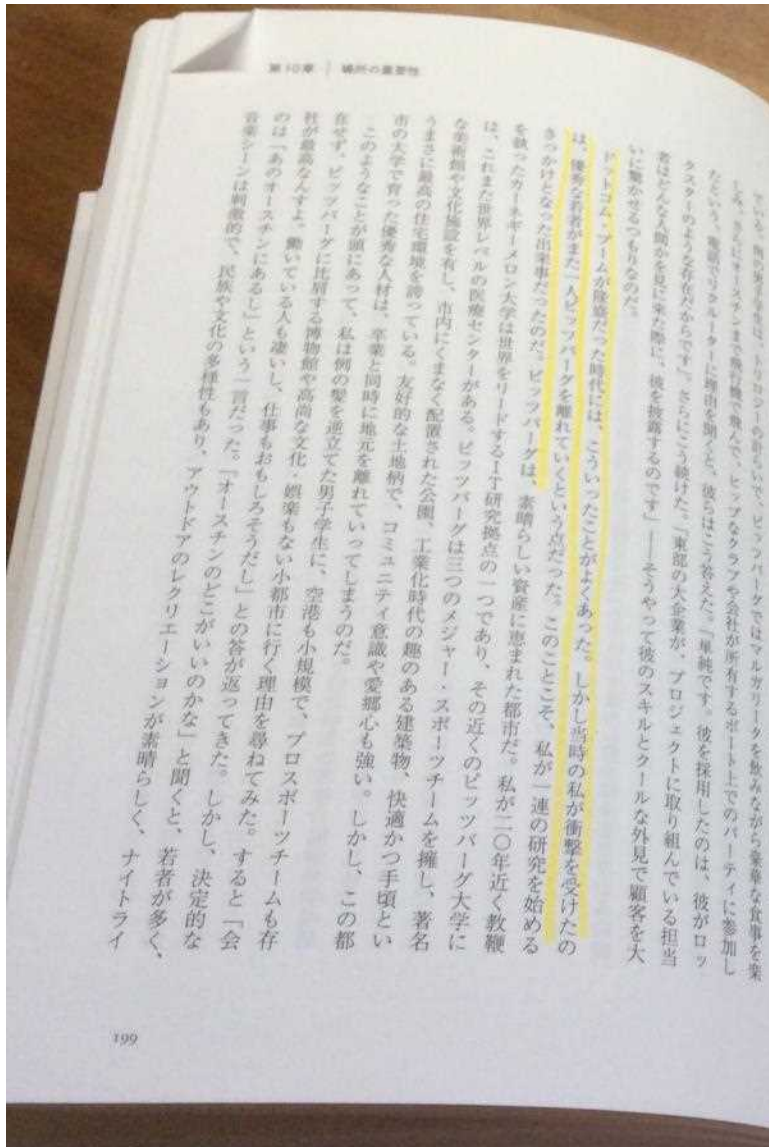
1 まずは読書から

研究には「インプット」が欠かせません
先人の研究成果を知ってこそ、研究できます
す

もちろん、先行研究だけにとらわれてはい
けません

そのため、インプットで研究する分野につ
いて学習しながら、何が研究されていない
かを知る必要があります

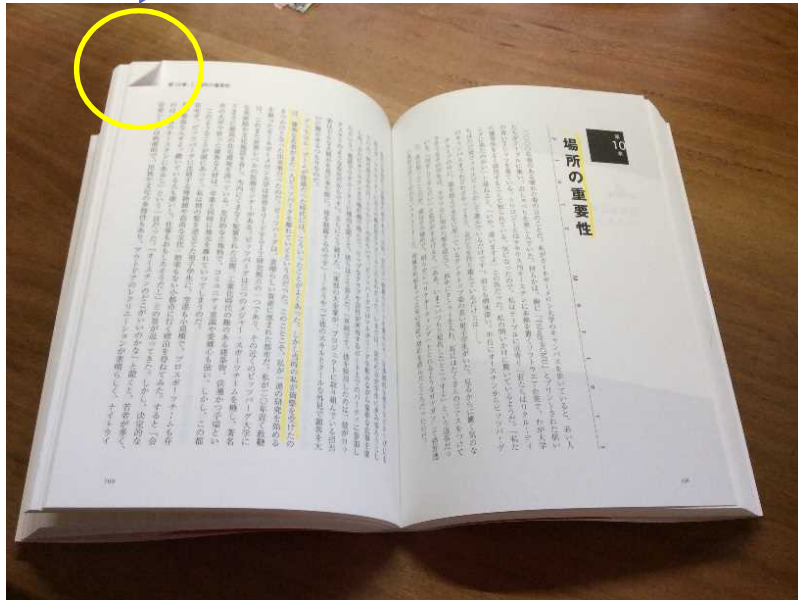
まず読書



- 何はともあれまず文献を読みます
 - 文献とは研究に関する論文や図書を指します
- その際に重要なところにはマーカーを引きます
- 私はマーカーを特別な鉛筆(デルマトグラフ)で引いています

重要なところにはマーカーをひく

これが「犬耳」 dog ear ページの隅折り



- 私が使っているのは、鉛筆の芯に紙を巻いたデルマトグラフという鉛筆です
- 黄色か青色を使います
 - コピーした時に映り込みを防ぐためです
- ついでに、マーカーしたページの耳を折っておきます（「犬耳」にします）
- そうすると、マーカーしたページがさっと開けて便利です

次に続く→

これが「デルマトグラフ」です



- もともと、外科手術で皮膚に印を付けるために使っていたので、「デルマト(皮膚のという意味)グラフ」という名前だそうです
- 現在使用しているのは、三菱鉛筆社製です
- マーカーペンは鮮やかですが、寝ながら書いたり、飛行機の中で線を引く場合、衣服が汚れることがあります
- その点では、水性のデルマトグラフなら洗えば落ちるので安心です

よくある質問-1

【Q】 私は修士課程の学生ですが、いくつか文献を読めば修士論文が書けるのでしょうか？

【A】

正確に答えることはできません。研究によって異なるからです。一つ言えることは、読んだ文献の30-50%くらいを、文献リストに記載できるということです。ですから多めに読む必要があります。研究に慣れてくるとこの割合が上がりますが、初心者は「数を打つ」ことで解決しましょう。つまりたくさん読んでおけば、まずは安心ということです。

文献読破は**基礎体力を付ける**ことに似ています。たくさん（読んで）基礎体力があれば、修論レースというマラソンも完走できます。基礎体力がないと、あやういレースになります。

よくある質問-2

【Q】 図書館の本に線を引いてもよいでしょうか？

【A】 それはあまりオススメできません。先に読んだ人が大事なところを教えてくれるのはありがたいですが、あなたが大切な所だと思っても、必ずしも他の学生が重要だと思わないかもしれないからです。

そこで、重要だと思ったページをコピーしてそこにマーカーをしましょう。その際に、表紙と奥付もいっしょにコピーしておけば、そのまま文献として管理できます。

こうしたことを制約と思わずに、イノベーションのためのチャンスと見ましょう。制約は発明の母です。